

地域密着型通所介護・運営推進会議（議事録）

令和3年3月29日（月）

18:00 ~ 19:30

デイサービスセンター共楽苑にて

会議出席者（委員7名+事務局2名）

- ・佐々木俊博 委員（益田地域介護支援専門員協会前会長・くしろ宝寿苑施設長）
- ・品川弥次 委員（西南地区児童民生委員協議会会長）
- ・中島保 委員（美濃地区社会福祉協議会元会長）
- ・豊田繁雄 委員（二条地区連合自治会長）
- ・永井安行 委員（利用者代表）
- ・岡崎トメ子 委員（利用者代表） わかくさ福祉会より
- ・石川恵里佳 委員（益田市高齢者福祉課） ・岡崎正興・又賀信子

1. 前回のふりかえり 等

令和2年度・第1回目の運営推進会議は、8月の発生状況に鑑みて、9月ではなく10月開催といたしました。今回が令和2年度の第2回目、ということになります。（前回承認済み）

2. 今年度の状況について

- ・令和2年度のデイの利用者の人数（延利用人数）としては、多く、赤字にはならない見込みだが、過去年度にもまして軽介護度の方が多いため、今後は、重度の方にもご利用いただければと考えている。
- ・居宅介護支援事業は、入所や、死去される方あり、減少。
- ・調理師の退職希望がある。献立のメニューを考えるのがつらくなってきたとのこと。ゆえに、残念ではあるが、昼食の外注をかけることとする。しかし、出来るだけ地元の方を雇用したいため、外注品の温めや配膳等の仕事については、今まで通りの3人のままでシフトを組む予定。（勤務時間は短縮する）。
外注品については、栄養価は高く、味は案外良いが、「いろどり」はいまひとつである。
- ・中西中3年生の岡崎実依子さんが、共楽苑を題材にして作成した「福祉のこころ新聞」が、山陰中央新報で受賞した。島根県の老施協でも取り上げられた。 ※別添
- ・令和3年4月より、利用料金の変更があった。入浴加算（料）が10円下がった。今後、体制が整い、利用者さんにも了解が得られれば、9月に再度変更する可能性はある。
（科学的介護、体制強化加算など、新型コロナ加算が無くなったころ頃が目安かと考えている。）

3. 意見交換

① 食事作成について

- ・インターネット注文の方法について検討した。（詳細は省略）。
- ・他事業所のやり方を参考にさせていただいた。（詳細は省略）。
- ・従来の職員3人が平等に働けるシフトの在り方について議論した。（詳細は省略）

② 二条地区から完全に、お店が無くなることについて

- 店が無くなり、買い物には困っている。共楽苑で出来ることを検討していきたい。
- 真砂地区の情報提供がある。地域自治組織で行っている。
- 石見交通の在り方について批判的意見がある。
- 美濃の「てごすけ号」に対して、わかくさ福祉会と梅寿会が「自動車と運転手」の派遣をしているが、利用人数は減ってきている。しかしながらこれは買い物よりも美濃診療所への受診が主な用途であり必需であるため、希望人数に関わらずボランティアは継続する。

③ 山間部の道路状況の悪化について

- 益田市道の道路状況が悪化している。(道が悪いということ)。
- 国の予算が取れるようになれば・・・。
- 黒周地区は、地元の人たちで木や枝を伐採してなんとか道路を維持している。

④ 地域行事について

- コロナ禍により、ほたるまつりと、城山登山は、中止と確認。
- 美濃地区では、4月10日までひな人形展を開催している。
- デイとしては、通常通り、花見のドライブなどは行う予定である。
(さくら → 柏原地区 津和野町の木部地区 江崎 など)
(もも → 後溢 など)

4. その他

① この委員会の委員について

- 交代希望者が1名おられる。

5 次回について

- 新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが、9月に行う予定。
- 事業報告、意見交換などを予定。

(議事録作成：又賀信子・岡崎正興)